

radio Camnetに続くマガジン版

心身健全

大槻ワールドへようこそ

CAMNETをお楽しみにの皆様、いかがお過ごしですか？「心身健全！」のパーソナリティをしています、川崎医科大学衛生学 大槻剛巳です。さてcamnetマガジンは2016年新年号(1~2月号)です。

皆様、よいお年をお迎えでしょうか？



さて、季節に合わせて冬景色っていても、大槻がおります倉敷市は、それほど雪が降るわけでもありません。郷里である丹波・京都府福知山市は、それでも山一つ(鬼伝説の大江山)を越えると日本海ですので、まずまず降雪もあります。勿論、大槻が5~10歳の間過ごした京都府舞鶴市は、もっとふっていましたけれど。

2007年のお正月、雪の福知山です。



アーチの橋は音無瀬橋。ここで毎年、夏のお盆には花火大会があつて、夏の帰省では徒歩で行っていたりしていたのですが、2年前でしたか(?)、屋台での爆発事故で死者3名、負傷者59名が出た大惨事でした。それでその後も開催されていません。北近畿ではかなり大きな花火大会で、非常に残念なことです。さらに2014年の夏は福知山市も水害があり、市街地はすべて水に埋まりました。これはこの橋の下を流れる由良川の土手が決壊したわけではなかったのですが、集中豪雨が長期間継続したために、盆地の地形から周囲の山々から流れ落ちてくる雨量水量がハンパなくなって・・・由良川の流れてはかばいきれなくなったのだと聞いています。うちの実家の跡(ちなみに7年半前に父が逝去し医院は解体売却、母も倉敷に越しています)も水浸しの写真をSNSで見つけました。



もう数年以上前、父が元気だったころ、福知山に帰省してお正月に天橋立に行った時の写真です。日本三景の名勝も雪景色。可愛い雪だるまの家族が居ました。今では懐かしい思い出で、父の残してくれた有形無形のものを気持ちの奥底で継承していかなければならないって改めて強く想います。

最後に、昨年7月1日より大槻の iTunes 配信オリジナルアルバムの第2弾が販売開始になりました。



タイトルは「Kissing Me Softly」。歌詞カードは Kindle 版電子書籍でAmazonなどで販売されています。何卒よろしく願い申し上げます。

最後に季節のオリジナルソング紹介！

～冬の日～

街角を 駆けめぐる 北風に
捕まえられないように
キミは 逃げてきたんだ
この部屋に 急いで

震えてる 細い肩 さあ早く
入って暖めなくっちゃ
赤い コートを脱いで
くつろいで 行きなよ

※ ちょっと不安な 愛の言葉は
熱いミルクに 溶かし込んで
恥ずかしそうな 倅せたちは
暖炉のそばで 暖めてあげよう

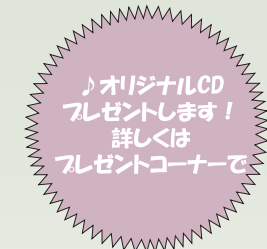
はにかんだ まなざしも
いつのまに 微笑み 思い出したネ
少し うつむきがちの
キミよりも ステキさ

いつまでも このままで 二人して
トランプ占いななか
ごらん キミとボクなら
サイコーと 出てるよ

※ repeat

北風が こわいなら この部屋に
ずっといてもいいんだよ
少し 震える腕で
抱きしめて あげるよ

作詞・作曲:大槻剛巳 1975.12.29.



プロフィール

大槻 剛巳
(おおつき たけみ)

川崎医科大学衛生学 業	教授	以降:川崎医科大学血液内科~衛生学にて
0歳:京都府福知山市にて生誕		診療・研究・教育に従事
14歳:京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位		1992-1996年:米国留学(医学研究)
14歳:KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用		1996年:岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載
15歳:倉敷市に転居		2009年:Camnet CH-F(10-19)パーソナリティ担当
15&18歳:NHKあなたのメロディー出演		現在に至る
18歳:YAMAHAポプコン全国大会(譜面の部)出場		
20歳:YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり		
24歳:川崎医科大学卒		